

## 特 集

### 令和2年国勢調査人口等基本集計結果長崎県の概要《確定値》

長崎県県民生活部統計課

令和2年国勢調査人口等基本集計結果（令和3年11月30日総務省統計局公表）から長崎県の概要をとりまとめました。

#### 《 結果の概要 》

項 目		令和2年(今回)	平成27年(前回)	平成27年との比較
人 口	総 数	1,312,317 人	1,377,187 人	△ 64,870 人
	男	616,912 人	645,763 人	△ 28,851 人
	女	695,405 人	731,424 人	△ 36,019 人
人口増減率		△ 4.7 %	△ 3.5 %	△ 1.2 ポイント
人口性比 (女性=100)		88.7	88.3	0.4 ポイント
世 帯 数		558,230 世帯	560,720 世帯	△ 2,490 世帯
世帯増減率		△ 0.4 %	0.4 %	△ 0.8 ポイント

- 総人口は平成27年に比べて、64,870人（4.7%）の減少
- 人口増加は大村市と佐々町、人口減少は12市7町
- 人口を年齢3区分別で見ると、15歳未満人口の割合は12.5%、15～64歳人口の割合は54.5%といずれも過去最も低く、65歳以上人口は33.0%と過去最も高い
- 世帯数は平成27年に比べて、2,490世帯（0.4%）の減少（初の減少）

※ 人口等基本集計は、全ての調査票を用いて市区町村別の人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計した確定値である。

# 1 人口総数

- 長崎県の総人口は 1,312,317 人、H27 から 64,084 人（4.7%）の減少
- 男女別人口は、女性が男性より 78,493 人多い

- 令和 2 年 10 月 1 日現在の本県の人口は 1,312,317 人、前回の平成 27 年調査の 1,377,187 人と比べ 64,870 人、4.7%減少した。
- 本県の人口は、昭和 30 年の調査で 170 万人を超え、昭和 35 年の 1,760,421 人をピークに減少に転じ、昭和 45 年には 1,570,912 人まで減少した。その後は増加に転じ、昭和 60 年には 1,593,968 人まで増加したが、平成 2 年以降は再び減少となり、今回の調査で 1,312,317 人となった。
- 人口を男女別にみると、男性が 616,912 人、女性が 695,405 人で平成 27 年と比べ男性が 28,851 人、女性が 36,019 人減少した。また、男性は女性より 78,493 人少なく、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 88.7、平成 27 年（88.3）と比べると 0.4 ポイント高くなっている。

表 1 長崎県の人口の前回との比較

		令和2年	平成27年	増減数	増減率
人口	総数	1,312,317 人	1,377,187 人	△ 64,870 人	△ 4.7 %
	男	616,912 人	645,763 人	△ 28,851 人	△ 4.5 %
	女	695,405 人	731,424 人	△ 36,019 人	△ 4.9 %

図 1 長崎県の人口と人口増減率の推移（大正 9 年～令和 2 年）

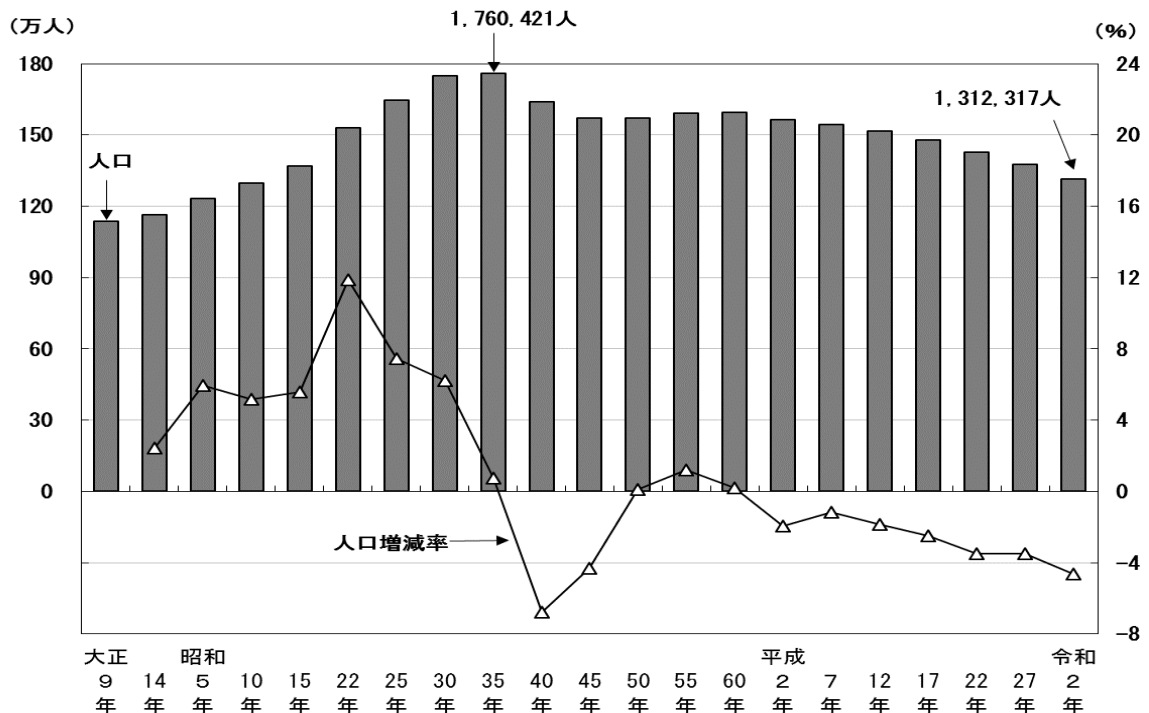


表2 長崎県男女別人口の推移（大正9年～令和2年）

年次	人 口					
	総数	男	女	性比 (女=100)	総数の対前回 増減数	総数の対前回 増減率
	人	人	人		人	%
大正9年	1,136,182	584,234	551,948	105.8	-	-
14	1,163,945	593,472	570,473	104.0	27,763	2.4
昭和5年	1,233,362	630,525	602,837	104.6	69,417	6.0
10	1,296,883	662,174	634,709	104.3	63,521	5.2
15	1,370,063	698,627	671,436	104.0	73,180	5.6
22	1,531,674	749,242	782,432	95.8	161,611	11.8
25	1,645,492	812,079	833,413	97.4	113,818	7.4
30	1,747,596	859,689	887,907	96.8	102,104	6.2
35	1,760,421	860,623	899,798	95.6	12,825	0.7
40	1,641,245	788,667	852,578	92.5	△ 119,176	△ 6.8
45	1,570,245	747,971	822,274	91.0	△ 71,000	△ 4.3
50	1,571,912	750,418	821,494	91.3	1,667	0.1
55	1,590,564	758,374	832,190	91.1	18,652	1.2
60	1,593,968	757,617	836,351	90.6	3,404	0.2
平成2年	1,562,959	736,729	826,230	89.2	△ 31,009	△ 1.9
7	1,544,934	726,894	818,040	88.9	△ 18,025	△ 1.2
12	1,516,523	712,346	804,177	88.6	△ 28,411	△ 1.8
17	1,478,632	691,444	787,188	87.8	△ 37,891	△ 2.5
22	1,426,779	665,899	760,880	87.5	△ 51,853	△ 3.5
27	1,377,187	645,763	731,424	88.3	△ 49,592	△ 3.5
令和2年	1,312,317	616,912	695,405	88.7	△ 64,870	△ 4.7

## 2 市町別人口

○ 人口増加は大村市と佐々町、人口減少は長崎市、佐世保市など19市町

- 本県の人口を市町別にみると、長崎市が409,118人（県人口の31.2%）と最も多く、次いで佐世保市が243,223人（同18.5%）、諫早市の133,852人（同10.2%）、大村市の95,397人（同7.3%）、島原市の43,338人（同3.3%）と続いており、最も少ないのは小値賀町の2,288人（同0.2%）となっている。
- 平成27年と比べると、大村市が2,640人（2.8%）、佐々町が286人（2.1%）増加し、これ以外の19市町では人口が減少している。
- 減少数が最も多いのは長崎市の20,390人、次いで佐世保市の12,216人、諫早市の4,226人、南島原市の4,205人、雲仙市の3,019人となった。減少率が最も高いのは新上五島町の11.2%、次いで小値賀町の10.6%、対馬市の9.4%、南島原市の9.0%、松浦市の8.7%となっている。

○ 本土と離島（※）を比べると、本土の人口は1,204,685人、平成27年の1,259,022人と比べて54,337人（4.3%）の減少となっている。

○ 離島の人口は107,632人、平成27年の118,165人と比べて10,533人（8.9%）の減少となっている。

※ 離島とは、対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町の3市2町をいう。

表3 人口が増加した市町（令和2年）

順位	市町名	増加数（人）	増加率（%）
1	大村市	2,640	2.8
2	佐々町	286	2.1

表4 人口減少数の多い市町、人口減少率の高い市町（令和2年）

順位	市町村名	減少数（人）
1	長崎市	△ 20,390
2	佐世保市	△ 12,216
3	諫早市	△ 4,226
4	南島原市	△ 4,205
5	雲仙市	△ 3,019

順位	市町村名	減少率（%）
1	新上五島町	△ 11.2
2	小値賀町	△ 10.6
3	対馬市	△ 9.4
4	南島原市	△ 9.0
5	松浦市	△ 8.7

図2 市町別人口増減率の推移（平成22年～令和2年）

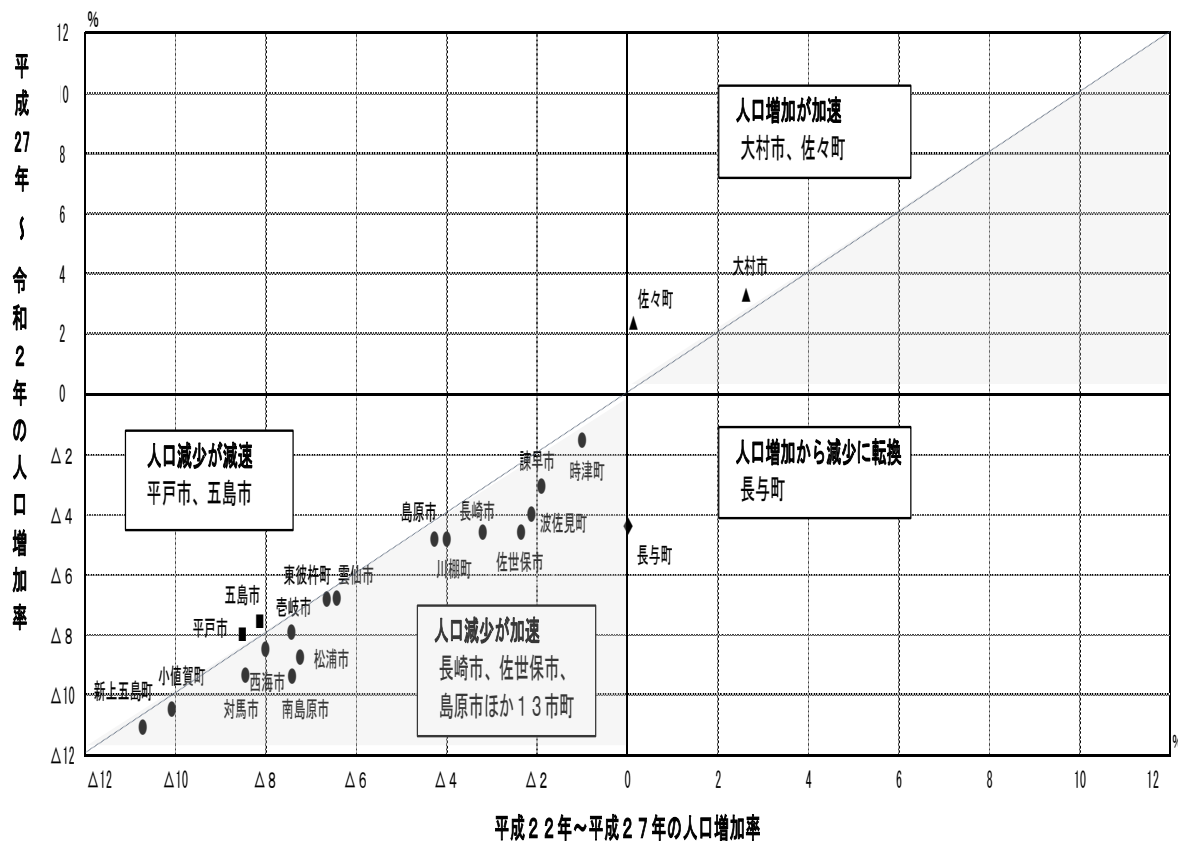


表5 長崎県の市町別人口（平成27年～令和2年）

市町名	令和2年					平成27年			平成27～令和2年			
	人口総数	順位	構成比	男	女	人口総数	男	女	増減数	順位	増減率	順位
	人		%	人	人	人	人	人	人		%	
長崎県計	1,312,317	-	100	616,912	695,405	1,377,187	645,763	731,424	△ 64,870	-	△ 4.7	-
市部計	1,173,106	-	89.4	550,982	622,124	1,231,675	576,931	654,744	△ 58,569	-	△ 4.8	-
郡部計	139,211	-	10.6	65,930	73,281	145,512	68,832	76,680	△ 6,301	-	△ 4.3	-
長崎市	409,118	1	31.2	188,519	220,599	429,508	198,716	230,792	△ 20,390	21	△ 4.7	8
佐世保市	243,223	2	18.5	115,131	128,092	255,439	120,198	135,241	△ 12,216	20	△ 4.8	9
島原市	43,338	5	3.3	20,157	23,181	45,436	20,999	24,437	△ 2,098	10	△ 4.6	7
諫早市	133,852	3	10.2	63,544	70,308	138,078	65,029	73,049	△ 4,226	19	△ 3.1	4
大村市	95,397	4	7.3	45,448	49,949	92,757	43,938	48,819	2,640	1	2.8	1
平戸市	29,365	10	2.2	13,771	15,594	31,920	14,874	17,046	△ 2,555	14	△ 8.0	15
松浦市	21,271	15	1.6	10,278	10,993	23,309	11,164	12,145	△ 2,038	9	△ 8.7	17
対馬市	28,502	12	2.2	14,060	14,442	31,457	15,361	16,096	△ 2,955	16	△ 9.4	19
壱岐市	24,948	14	1.9	11,837	13,111	27,103	12,860	14,243	△ 2,155	11	△ 8.0	14
五島市	34,391	9	2.6	16,141	18,250	37,327	17,339	19,988	△ 2,936	15	△ 7.9	13
西海市	26,275	13	2.0	13,120	13,155	28,691	14,032	14,659	△ 2,416	13	△ 8.4	16
雲仙市	41,096	7	3.1	19,378	21,718	44,115	20,847	23,268	△ 3,019	17	△ 6.8	11
南島原市	42,330	6	3.2	19,598	22,732	46,535	21,574	24,961	△ 4,205	18	△ 9.0	18
西彼杵郡	70,119	-	5.3	33,312	36,807	72,352	34,416	37,936	△ 2,233	-	△ 3.1	-
長与町	40,780	8	3.1	19,196	21,584	42,548	20,090	22,458	△ 1,768	8	△ 4.2	6
時津町	29,339	11	2.2	14,116	15,223	29,804	14,326	15,478	△ 465	4	△ 1.6	3
東彼杵郡	35,389	-	2.7	16,739	18,650	37,256	17,621	19,635	△ 1,867	-	△ 5.0	-
東彼杵町	7,721	20	0.6	3,686	4,035	8,298	3,886	4,412	△ 577	5	△ 7.0	12
川棚町	13,377	19	1.0	6,300	7,077	14,067	6,656	7,411	△ 690	7	△ 4.9	10
波佐見町	14,291	17	1.1	6,753	7,538	14,891	7,079	7,812	△ 600	6	△ 4.0	5
北松浦郡	16,200	-	1.2	7,645	8,555	16,186	7,598	8,588	14	-	0.1	-
小値賀町	2,288	21	0.2	1,054	1,234	2,560	1,172	1,388	△ 272	3	△ 10.6	20
佐々町	13,912	18	1.1	6,591	7,321	13,626	6,426	7,200	286	2	2.1	2
南松浦郡	17,503	-	1.3	8,234	9,269	19,718	9,197	10,521	△ 2,215	-	△ 11.2	-
新上五島町	17,503	16	1.3	8,234	9,269	19,718	9,197	10,521	△ 2,215	12	△ 11.2	21
本土	1,204,685	-	91.8	565,586	639,099	1,259,022	589,834	669,188	△ 54,337	-	△ 4.3	-
離島	107,632	-	8.2	51,326	56,306	118,165	55,929	62,236	△ 10,533	-	△ 8.9	-
長崎県計	1,312,317	-	100	616,912	695,405	1,377,187	645,763	731,424	△ 64,870	-	△ 4.7	-

注) 離島とは、対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町の3市2町をいう。

### 3 年齢別人口

- 年少人口（15歳未満人口）は0.4%減、割合は12.9%から12.5%に低下
- 生産年齢人口（15歳～64歳人口）は3.0%減、割合は57.5%から54.5%に低下
- 老年人口（65歳以上人口）は3.4%増、割合は29.6%から33.0%に上昇

- 総人口を年齢3区別にみると、年少人口（15歳未満人口）は164,573人（総人口の12.5%）、生産年齢人口（15～64歳人口）は714,726人（同54.5%）、老年人口（65歳以上人口）は433,018人（同33.0%）となっている。
- 年少人口は、平成27年に比べ13,519人（7.6%）の減少となり、総人口に占める割合も0.4ポイント低下し、調査開始以来最も低くなっている。
- 生産年齢人口は、平成27年に比べ77,230人（9.8%）の減少となり、総人口に占める割合も3.0ポイント低下し、調査開始以来最も低くなっている。
- 老年人口は、平成27年に比べ25,879人（6.4%）の増加となり、総人口に占める割合は3.4ポイント上昇し、調査開始以来最も高くなっている。

図3 年齢（3区分）別人口の割合の推移（大正9年～令和2年）

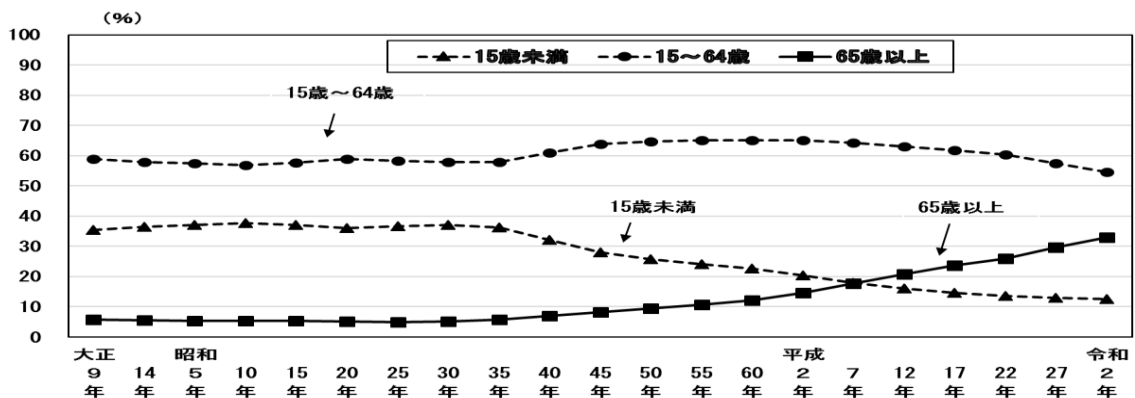


図4 年齢（3区分）別人口の割合の推移（大正9年～令和2年）

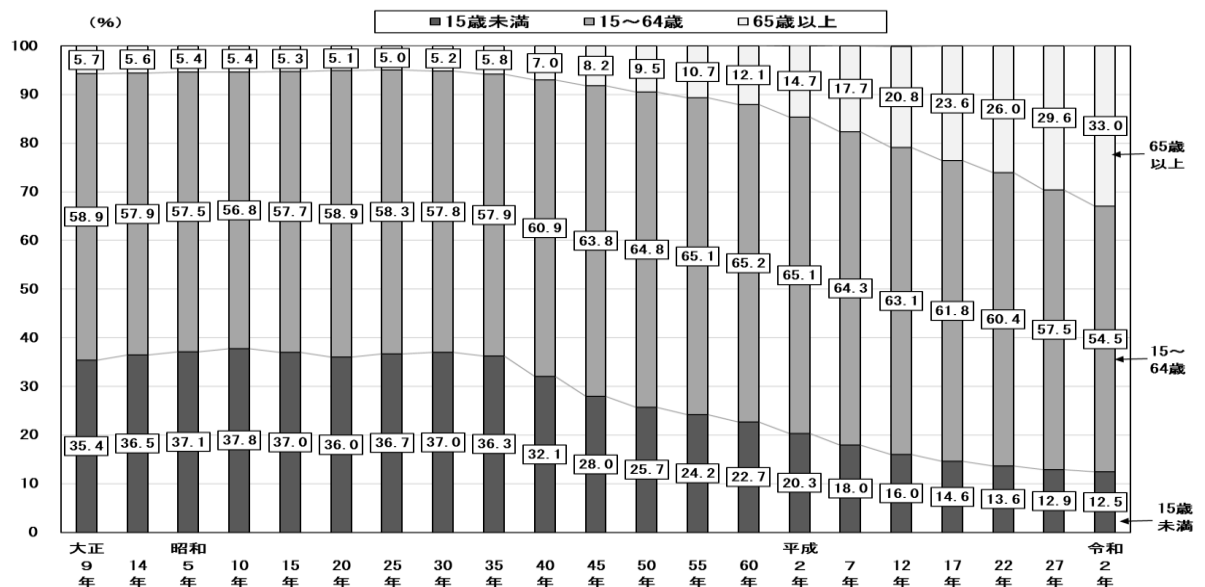


表6 年齢（3区分）別人口の推移（大正9年～令和2年）

年次	人口				割合（%）			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
大正 9年	1,136,182	401,782	669,609	64,791	35.4	58.9	5.7	
14	1,163,945	424,480	673,989	65,476	36.5	57.9	5.6	
昭和 5年	1,233,362	457,105	709,520	66,737	37.1	57.5	5.4	
10	1,296,883	490,268	736,267	70,348	37.8	56.8	5.4	
15	1,369,016	506,294	789,746	72,970	37.0	57.7	5.3	
22	1,531,674	552,009	901,567	78,098	36.0	58.9	5.1	
25	1,645,492	603,693	959,013	82,749	36.7	58.3	5.0	
30	1,747,596	646,454	1,010,131	90,998	37.0	57.8	5.2	
35	1,760,421	638,850	1,019,529	102,042	36.3	57.9	5.8	
40	1,641,245	527,123	999,303	114,819	32.1	60.9	7.0	
45	1,570,245	439,298	1,002,416	128,531	28.0	63.8	8.2	
50	1,571,912	403,824	1,019,301	148,708	25.7	64.8	9.5	
55	1,590,564	385,200	1,035,278	169,753	24.2	65.1	10.7	
60	1,593,968	361,823	1,038,396	193,605	22.7	65.2	12.1	
平成 2年	1,562,959	316,761	1,016,338	228,991	20.3	65.1	14.7	
7	1,544,934	277,263	993,783	273,335	18.0	64.3	17.7	
12	1,516,523	243,046	956,692	315,871	16.0	63.1	20.8	
17	1,478,632	215,987	913,224	348,820	14.6	61.8	23.6	
22	1,426,779	193,428	857,416	369,290	13.6	60.4	26.0	
27	1,377,187	178,092	791,956	407,139	12.9	57.5	29.6	
令和 2年	1,312,317	164,573	714,726	433,018	12.5	54.5	33.0	
27年	人	△ 64,870	△ 13,519	△ 77,230	25,879	△ 0.4	△ 3.0	3.4
比較	%	△ 4.7	△ 7.6	△ 9.8	6.4	—	—	—

(注)平成27年及び令和2年は不詳補完値による。

(注)平成27年及び令和2年の割合は不詳補完値により、平成22年以前の割合は分母から不詳を除いて算出。

#### 4 市町別年齢別人口

- 年少人口（15歳未満人口）の割合が最も高いのは佐々町の16.7%
- 生産年齢人口（15～64歳人口）の割合が最も高いのは大村市の58.7%
- 老年人口（65歳以上人口）の割合が最も高いのは小値賀町の50.8%

- 県内で年少人口（15歳未満人口）の割合が最も高いのは、佐々町の16.7%、次いで大村市の15.7%、時津町の15.4%、長与町の14.6%、波佐見町の13.8%となっている。また、年少人口割合が最も低いのは、小値賀町の8.6%、次いで新上五島町の9.0%、五島市の10.5%、西海市の10.8%、東彼杵町の11.1%となっている。
- 生産年齢人口（15～64歳人口）の割合が最も高いのは、大村市の58.7%、次いで長与町の58.2%、時津町の57.7%、諫早市の56.0%となっている。
- 老年人口（65歳以上人口）の割合が最も高いのは小値賀町の50.8%、次いで新上五島町の42.7%、平戸市の41.4%、五島市の40.8%となっている。

図5 市町別年齢（3区分）別人口（令和2年）

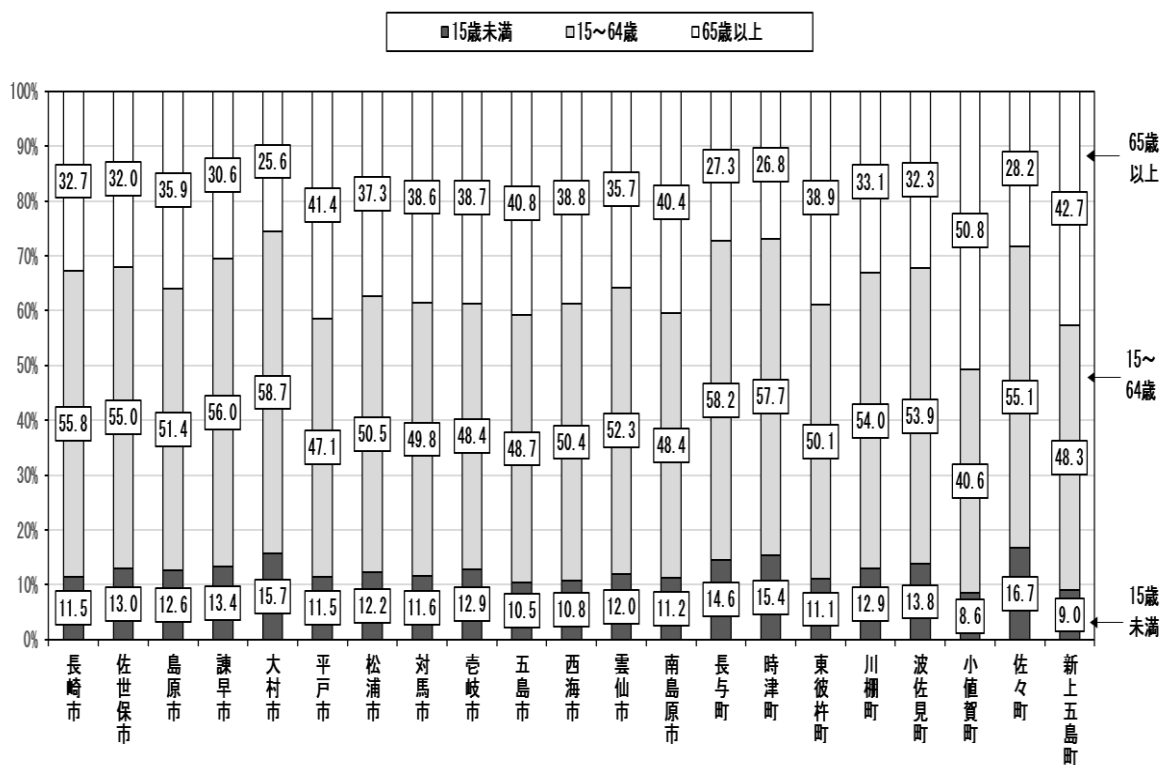


表7 市町別年齢（3区分）別人口（令和2年）

市町名	年齢3区分						100歳以上	平均年齢	
	総数	0~14歳		15~64歳		65歳以上			
		割合	割合	割合	割合				
県計	1,312,317	164,573	12.5	714,726	54.5	433,018	33.0	1,169	49.7
長崎市	409,118	46,870	11.5	228,336	55.8	133,912	32.7	342	49.7
佐世保市	243,223	31,604	13.0	133,786	55.0	77,833	32.0	205	48.6
島原市	43,338	5,467	12.6	22,297	51.4	15,574	35.9	54	51.5
諫早市	133,852	17,924	13.4	75,018	56.0	40,910	30.6	108	48.4
大村市	95,397	14,995	15.7	56,017	58.7	24,385	25.6	46	45.1
平戸市	29,365	3,384	11.5	13,817	47.1	12,164	41.4	42	54.3
松浦市	21,271	2,599	12.2	10,732	50.5	7,940	37.3	23	51.8
対馬市	28,502	3,311	11.6	14,191	49.8	11,000	38.6	25	52.9
杵岐市	24,948	3,213	12.9	12,076	48.4	9,659	38.7	32	52.6
五島市	34,391	3,611	10.5	16,733	48.7	14,047	40.8	40	54.8
西海市	26,275	2,836	10.8	13,246	50.4	10,193	38.8	30	52.9
雲仙市	41,096	4,914	12.0	21,493	52.3	14,689	35.7	42	51.8
南島原市	42,330	4,735	11.2	20,479	48.4	17,116	40.4	54	54.2
長与町	40,780	5,935	14.6	23,725	58.2	11,120	27.3	30	46.5
時津町	29,339	4,532	15.4	16,935	57.7	7,872	26.8	22	45.4
東彼杵町	7,721	854	11.1	3,867	50.1	3,000	38.9	16	53.5
川棚町	13,377	1,727	12.9	7,228	54.0	4,422	33.1	18	49.6
波佐見町	14,291	1,972	13.8	7,706	53.9	4,613	32.3	8	49.1
小値賀町	2,288	196	8.6	930	40.6	1,162	50.8	5	59.2
佐々町	13,912	2,321	16.7	7,662	55.1	3,929	28.2	15	45.8
新上五島町	17,503	1,573	9.0	8,452	48.3	7,478	42.7	12	56.4

(注) 不詳補完値による。



## 5 世帯数

- 世帯数は558,230世帯、平成27年から2,490世帯(0.4%)の減少
- 大正9年の調査開始以来、初めての減少

- 本県の世帯数は558,230世帯で、平成27年と比べると2,490世帯(0.4%)減少した。
- 大正9年に第1回の調査を開始して以来、世帯数は初めての減少となっている。

図6 長崎県の世帯数と増減率の推移(大正9年~令和2年)

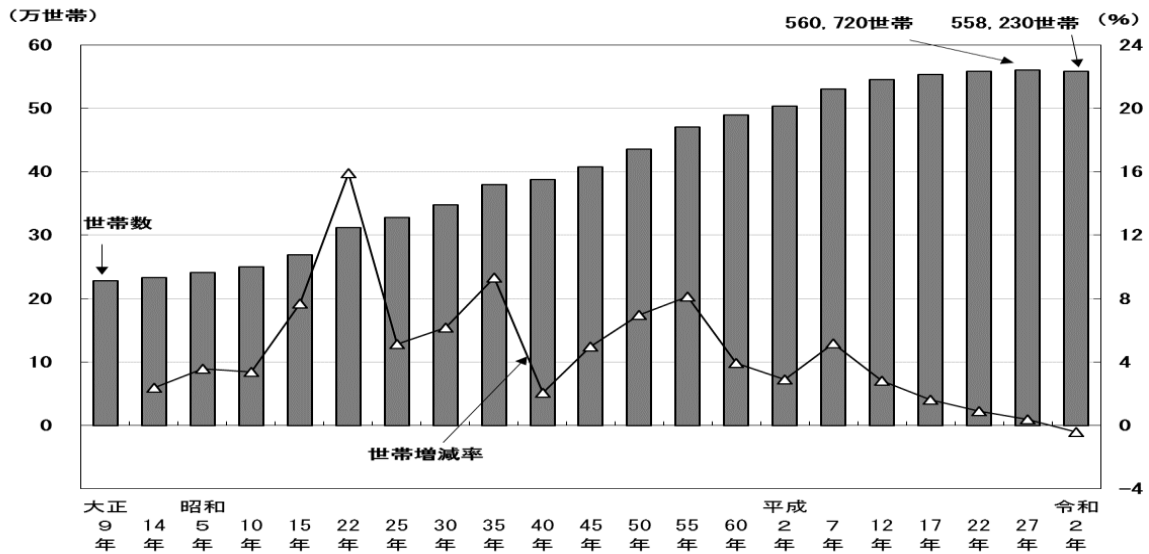


表8 長崎県の世帯数と増減率の推移(大正9年~令和2年)

年次	世帯数		
	総数	総数の対前回増減数	総数の対前回増減率
	世帯	世帯	%
大正9年	227,700	-	-
14	233,093	5,393	2.4
昭和5年	241,457	8,364	3.6
10	249,588	8,131	3.4
15	268,750	19,162	7.7
22	311,457	42,707	15.9
25	327,419	15,962	5.1
30	347,589	20,170	6.2
35	380,044	32,455	9.3
40	387,838	7,794	2.1
45	407,151	19,313	5.0
50	435,477	28,326	7.0
55	470,927	35,450	8.1
60	489,492	18,565	3.9
平成2年	503,741	14,249	2.9
7	529,872	26,131	5.2
12	544,878	15,006	2.8
17	553,620	8,742	1.6
22	558,660	5,040	0.9
27	560,720	2,060	0.4
令和2年	558,230	△2,490	△0.4

## 6 市町別世帯数

### ○ 世帯数が増加したのは大村市、諫早市など7市町

- 本県の世帯数を市町別にみると、長崎市が187,423世帯（県総世帯の33.6%）と最も多く、次いで佐世保市が104,053世帯（同18.6%）、諫早市が53,235世帯（同9.5%）と続いており、最も少ないのは小値賀町の1,126世帯（同0.2%）となっている。
- 平成27年と比べると、世帯数が増加したのは7市町、世帯が減少したのは14市町となっている。総世帯の増加率が最も高いのは大村市の8.1%、次いで佐々町の6.5%、時津町の2.7%、諫早市の2.6%となっている。減少率が最も高いのは小値賀町の6.9%、次いで新上五島町の6.7%、対馬市の5.3%、五島市の5.2%となっている。

表9 市町別世帯数と増減率（平成27年～令和2年）

市町名	令和2年			平成27年 世帯数	平成27～令和2年			
	世帯数	順位	構成比		増減数	順位	増減率	順位
	世帯		%	世帯	世帯		%	
長崎県計	558,230	-	100	560,720	△ 2,490	-	△ 0.4	-
市部計	502,920	-	90.1	505,234	△ 2,314	-	△ 0.5	-
郡部計	55,310	-	9.9	55,486	△ 176	-	△ 0.3	-
長崎市	187,423	1	33.6	189,419	△ 1,996	21	△ 1.1	9
佐世保市	104,053	2	18.6	105,011	△ 958	20	△ 0.9	8
島原市	17,095	5	3.1	17,068	27	7	0.2	7
諫早市	53,235	3	9.5	51,897	1,338	2	2.6	4
大村市	39,002	4	7.0	36,070	2,932	1	8.1	1
平戸市	12,009	11	2.2	12,421	△ 412	15	△ 3.3	16
松浦市	8,789	15	1.6	8,994	△ 205	10	△ 2.3	13
対馬市	12,681	10	2.3	13,393	△ 712	18	△ 5.3	19
壱岐市	9,726	14	1.7	10,002	△ 276	13	△ 2.8	15
五島市	16,526	6	3.0	17,425	△ 899	19	△ 5.2	18
西海市	11,180	13	2.0	11,494	△ 314	14	△ 2.7	14
雲仙市	15,141	9	2.7	15,376	△ 235	12	△ 1.5	12
南島原市	16,060	7	2.9	16,664	△ 604	17	△ 3.6	17
西彼杵郡	27,446	-	4.9	27,374	72	-	0.3	-
長与町	16,011	8	2.9	16,237	△ 226	11	△ 1.4	10
時津町	11,435	12	2.0	11,137	298	4	2.7	3
東彼杵郡	12,905	-	2.3	12,804	101	-	0.8	-
東彼杵町	2,705	20	0.5	2,744	△ 39	8	△ 1.4	11
川棚町	5,195	18	0.9	5,103	92	5	1.8	5
波佐見町	5,005	19	0.9	4,957	48	6	1.0	6
北松浦郡	6,562	-	1.2	6,312	250	-	4.0	-
小値賀町	1,126	21	0.2	1,210	△ 84	9	△ 6.9	21
佐々町	5,436	17	1.0	5,102	334	3	6.5	2
南松浦郡	8,397	-	1.5	8,996	△ 599	-	△ 6.7	-
新上五島町	8,397	16	1.5	8,996	△ 599	16	△ 6.7	20
本土	509,774	-	91.3	509,694	80	-	0.0	-
離島	48,456	-	8.7	51,026	△ 2,570	-	△ 5.0	-
長崎県計	558,230	-	100	560,720	△ 2,490	-	△ 0.4	-

注) 離島とは、対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町の3市2町をいう。

## 【 利用上の注意 】

### (調査の地域)

令和2年国勢調査は、我が国の地域のうち、国勢調査施行規則第1条に規定する次の島を除く地域において行われた。

- ① 歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島
- ② 島根県隠岐郡隠岐の島町にある竹島

### (調査の対象)

令和2年の国勢調査は、調査時（令和2年10月1日午前零時現在）に本邦内に常住している者（外国人を含む。）について行われ、次の者は調査対象から除外した。

- ① 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族
- ② 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

### (不詳補完値の算出)

令和2年国勢調査の集計に当たり、結果利用者の利便性向上を図るため、主な項目の結果集計（原数値）に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を算出している。本概要では、年齢別人口及び配偶関係別人口は不詳補完値を用いており、5年前との比較においては、平成27年国勢調査を同様の方法で遡及集計した結果（不詳補完値）を用いている。

### (数値の表示)

統計表中の「－」は、単位未満又は該当数字のないこと及び比較対象外を示す。

割合は小数点以下第2位を四捨五入している。なお、増減率や割合などの各種計算値の算出にあたっては、単位未満を含んだ数値を用いている。

### (結果の公表等)

結果の公表等詳細な内容は、総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/> を参照のこと。

## 【 用語の解説 】

### (人口)

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいう。「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時に現在にいた場所に「常住している者」とみなした。

### (世帯の種類)

国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分している。

「一般世帯」とは「施設等の世帯」以外の世帯をいう。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいう。

### (配偶関係)

配偶関係については届け出の有無にかかわらず、実際の状態により次のとおり区分している。「未婚」はまだ結婚したことのない人、「有配偶」は妻又は夫のある人、「死別」は妻又は夫と死別して独身の人、「離別」は妻又は夫と離別して独身の人をいう。